

松支図書館だより 6月号

平成29年6月1日
熊本県立松橋支援学校図書館発行

運動会が終わり、一気に夏のような日差し、気温になりました。そして、もうすぐ梅雨。雨の日が続くと、なかなか外で遊べなくなりますね。そんな時、みなさんは室内でどうやって過ごしますか？テレビをみる？スマホをいじる？ぜひぜひ、雨の日の過ごし方のひとつに、“読書”を加えてみませんか。読書はきっと、あなたのこころの栄養になりますよ！



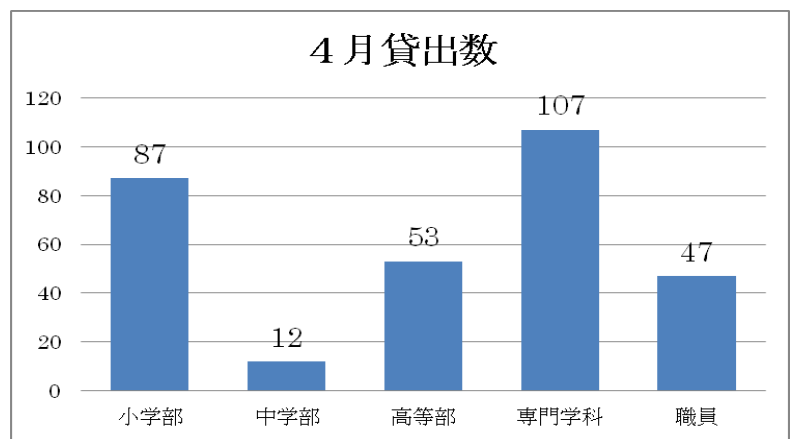
☆図書館の本、利用していますか？☆

4月は、新入生にオリエンテーションを実施し、たくさんの児童・生徒のみなさんが図書館へ足を運んでくれて、図書の貸出数は計306冊でした。5月は、ゴールデンウィークの長期休暇があり、また、運動会やその練習で忙しい毎日でしたので、貸出数は少ないかな？と思っていましたが、5月26日（金）までの集計で、300冊の貸出となっています。

こう考えると、“**忙しくても、本を読む人は読む！**”ということが分かりますね。

5月、あなたは図書館に足を運びましたか？そして、本を借りて読みましたか？いま、ドキッとしたあなた！まずは、1ヶ月に最低1冊は本を借りることを目標にしてみましょう。本が手元にないと、読書はできませんからね！

読みたい本が図書館に無ければ、リクエストをしてください！
あなたの“読みたい”に応えます



☆いじめについて考える本、展示中☆

6月は、各学部いじめ防止集会が開かれ、いじめについて考える月間となっています。そこで図書館でも、いじめに関する本を図書館中央に展示しています。学校の図書館にある本に加え、熊本県立図書館から49冊お借りしてきました。

この県立図書館からお借りした本は、6月16日（金）まで利用できますので、ぜひ借りて読んでみてください！



☆☆☆ リレーエッセイNO60 ☆☆☆
「生徒から勧められた本」

私は、祖父母が本屋を経営していたこともあり、小さい頃から本に親しんできました。元気になりたいとき、泣きたいとき、気分転換をしたいとき、勉強したいとき…。本を読む意味は、人それぞれだと思いますが、あなたはどんな時に本を読みますか？

今回は、昨年、文化図書副委員長を務めた卒業生がお勧めしてくれた本を紹介します。彼は、明るい性格で、よく人を笑わせたりしていました。そんな彼が、真面目な顔で2冊の本を熱く紹介し、「先生、絶対面白いので、読んでください！」と言うのです。彼の熱意に押され、紹介してもらった2冊を読んでみることにしました。

①「夢をかなえるゾウ」 作者：水野敬也

ダメダメな主人公の目の前に、関西弁で話す神“ガネーシャ”。過去の偉人の成功例から導き出される、誰にでも一日単位でできる実践的な成功習慣が書かれています。主人公が、ガネーシャに振り回されながらも、ガネーシャの課題を行う様子が、笑えて泣けてタメになる小説です。

主人公と私は重なるところもあり、ユーモアの中にちりばめられているガネーシャの「29」の教えが心に響きました。また、継続した実践の大切さを感じた本でした。



②「犬と私の10の約束」 作者：川口晴

犬のホントの気持ち…知っていますか？
犬を飼うなら守って、と母に教えられた「犬との10の約束」。この約束をめぐる小さな命の物語です。犬と少女の絆を描いた本です。

私は、動物を飼ったことがありません。しかし、犬は人間より寂しがり屋さんなのかな？だからこそ、人は“愛おしい”と感じるのかなと思いました。また、可愛らしい子犬の写真や満開の桜、夕日に染まる海の写真など、話に添えられた写真もステキだなと楽しめました。



2冊とも、学校の図書館にあります！気になった人、動物を飼っている人、ぜひ手にとって読んでみて下さいね！